

春風秋霜

5月号

令和6年5月21日
島田市教育委員会だより
教育長 山中史章

春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを慎む 佐藤一斎

1 毎年この時期は、ツバメの話題です

我が家には、この時期になるとツバメがやって来て、昨年作った巣を補修するところから子育てが始まります。毎年、5月になるとツバメの話を書くのですが、例年に比べて、今年はツバメが来るのが早かったように感じます。日本では桜の開花が遅れたり、世界的には異常気象が起こったりしていますが、ツバメが出発点とした国でも何か変化があったのでしょうか。気になるところです。

皆さんもご存じのようにツバメは「渡り鳥」です。春になるとフィリピンやマレーシア、ベトナム、インドネシアなどから日本にやってきて、しばらく日本で過ごします。そして、秋になると日本を離れてあたたかい南の方に渡っていきます。

毎年我が家に来るツバメが、昨年生まれた子ツバメなのかどうかは分かりませんが、雌と雄のつがいできてきました。まず、糞や泥を運んできて、巣を直すことから始めました。昨年、カラスが来ないようにカラス除けのネットを張り、巣にへびが近づかないようにへび除けの薬を撒き、さらに壁やドアの部分をへびが上っていけないように、シリコンを吹き付けます。我が家でも、ツバメの子育てがうまくいくように様々な準備を整えます。

いろいろと調べてみると、卵の時期は雌鳥が卵を温めているようです。雄鳥は危険のないように、巣を見張っているのでしょうか。我が家の玄関を人間が出入りするときに、どこかで親鳥が見張っているようで、人間がいたずらをしないように威嚇飛行をします。そのようなときは、親の愛情を感じます。

今年は、4羽（5羽かもしれません）の子ツバメが顔を出していますので、もうすぐ親子で飛行訓練を始めると思います。昔からの言い伝えにあるように「ツバメが幸せを運んでくれる」と思っていますから、この時期がとても楽しみです。

大きく元気に育ってくれることを、祈っています。



2 自転車の交通違反に厳罰化

先日、ニュースを見ていたら、自転車の事故が多く、自転車の交通違反に対して、反則金を導入することになったということを知りました。教育委員会としては、子供たちが事故にあわないように、小学1年生の子供たちに、道路の歩き方や横断歩道の渡り方、信号のある道路の渡り方などを交通指導員の方に来ていただいて、指導をしています。また、小学3年生の子供たちには、安全な自転車の乗り方を教えています。多くはありませんが、小学生や中学生が自転車に乗っているときの交通事故も発生しています。知らなかったでは済まされませんので、調べてみました。

5月17日の参議院議会本会議において「自転車による交通違反への反則金制度を導入する改正道路交通法」が可決・成立したということです。

今まで、自動車や二輪車の違反の場合は、警察官に青切符や赤切符を切られた場合、反則金を納めれば刑事罰を科されない仕組みがありますが、自転車は今までその対象外でした。今回の法改正は、自転車に乗っていて違反をした場合にも、青切符が切られ、反則金を払ったり、場合によっては処罰されたりすることになるというものです。悪質な場合は、赤切符が切られるということです。

今回の改正で「青切符」の取締りが適用されるのは16歳以上の利用者ということです。16歳という年齢は、最低限の交通ルールを知っていると考えられることや、原付き免許などを取得できる年齢であることが根拠のようです。

また、対象となるのは113の違反行為が示されているそうです。また、この法律は2年以内に施行されるということです。子供たちへの指導も必要になります。

具体的には、以下のような違反があるそうです。(違反行為113が示されました)

- 信号無視
- 例外的に歩道を通行できる場合でも徐行などをしないこと
- 一時不停止
- 携帯電話やイヤホンを使用しながら運転すること
- 傘を差したりイヤホンを付けたりしながら運転すること 等

肘かけ椅子

「思い立ったら吉日」

教育委員 原 喜恵子

我が家にキャンピングカーが初めてやってきたのは、平成4年。今からおよそ30年前です。

アウトドア好きの夫が車の雑誌を見ていて、展示車両として掲載されていた車に一目ぼれし、我が家の愛車となりました。

春秋は折り畳み自転車を載せてサイクリングに行ったり、冬はスキー道具を積んで雪山を楽しんだりと一年中キャンピングカーと共に楽しむことができました。

キャンピングカーの良いところはたくさんありますが、まず第一に思い立ったらすぐに旅に出ることができること。第二に宿を予約しなくても泊まりの旅ができること。第三に夜中に移動することができ、現地で自由に時間の調整ができること等々。勝手気ままで自由な時間を過ごすことができるというのが大きな魅力だと思います。

家を留守にすることが多かった私たち夫婦は、実家の母に「そんなに家を空けてどうするの！！」といつも叱られてばかりいました。

しかし、70歳になった今、やっぱり僅かな時間を見つけて旅に出てよかったと思っています。定年を迎えて時間ができてからやろうと思っても身体も環境もどんどん変化し、可能性が限られていくように感じました。何しろ足腰が弱くなって身体が思うように動かなくなりました。神社をお参りしたくても長い参道を歩き切ることにはなかなか大変です。更に我が家では、同居している百歳になる義母もいることだし……

従って我が家のキャンピングカーは現在旅に出る機会も減り、小学生の孫とその友達の秘密基地になると共に、災害時の防災拠点となるべく、非常食や飲料水の備蓄場所と化しています。